

# **Hesource Athlete**



Copyright(C) Amiya Corporation. All rights reserved.

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ALog ConVerter、Resource Athlete、および両製品のロゴマークは株式会社網屋の登録商標です。 その他の会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

本書で指定している箇所以外でソフトウェアに改変を加えた場合は、サポート対象外となります。 本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する場合があります。 本書では正確な情報を記載するよう努めておりますが、誤植や作成上の誤記がないことを保証するものではありません。

日次

はじめに	1
第 <i>1</i> 章 Resource Athleteの概要	3
1. 概要	3
2. ライセンス	3
3. クエリ	4
4. クエリの実行時間とデータサイズ	11
5. 動作環境	
5-1. マネージャーサーバ	
5-2. 対象マシン	
5-3. 対象マンソの動作境現	
第2章 Resource Athlete の構築	
Step 1. 構築前の準備	
Step 2. Resource Athlete のインストール	
Step 2-1. Resource Athlete のインストール	
Step 2-2. 初期ビットアッフ Step 2-2. フコープの登録	10 10
Step 2-3. スコークの豆螺 Step 2-4. カエリの新相泊加	10 10
Step 2 4. シェンの初次迫加	
<b>第 2音 其太堤</b> 作	20
おり半 本平休 F	
1. 起動力な	22 22
2. クティックトシーの回面記号	
3-1. メインメニューエリア	
3-2. コマンドアイコンエリア	
3-3. クエリツリーエリア	
3-4. 情報&設定エリア	24
4. 基本操作	24
4-1. マネージャーサーバに接続する	24
4-2. クエリを追加する	24
4-3. スコープを追加する	
4-4. クエリのタスク状況を確認する	
4−5. サービスに按続 じざるユーサー のアクセス惟を定義 9 る	
4-0. アノリクーンヨンの谷種ナーダ俗称フォルターを拍走する	20 27
47. メノビーノと唯記90	, 2 27
4-9 サポートデータを収集する	
4-10. 登録したクエリを編集する	
4-12. クエリの実行結果を確認する	
4-13. クエリの実行履歴を削除する	
4-14. クエリをコピーする	
<u>4–15.</u> クエリをエクスポート・インポートする	
第4章 バージョンアップ	
1. Resource Athlete のバージョンアップ	
第5章 アンインストール	<u>37</u>
1. Resource Athlete のアンインストール	



# はじめに

本書は、Windows およびネットワークシステムの基本的な知識をもつシステム管理者を対象に、Resource Athlete の概要およびインストール手順を記載した文書です。

Resource Athlete は、ファイルサーバに設定されたフォルダーアクセス権、システムのハードウェアリソースの状況、ドメインコントローラーのユーザーアカウントの一覧など、様々な情報を収集する製品です。情報収集の対象となるシステム COS やハードウェア)の仕様に関するお問い合わせは、メーカー各社またはご購入いただいた販売代理店にお問い合わせください。

#### ●関連文書について

Resource Athlete には、本書の他に目的に応じた各種ドキュメントがあります。

文書名		
FAQ	網屋サポートセンターがよくお問い合わせいただく質問事項と、その 回答が記載されています。	

#### ●製品情報およびオンラインサポートについて

Resource Athlete WEB サイト <https://www.amiya.co.jp/solutions/resource\_athlete/ >

製品に関する様々な情報が参照できます。

#### オンラインサポートセンター < https://support.alog.app/ >

最新のリリースバージョンやドキュメントがダウンロードできる他、トラブルシューティングや障害情報などが参照できます。

#### ●表記

本書では設定や利用上の注意事項や参考情報などを以下のとおり記載します。

表記	説明
	参考情報や推奨事項などを記載します。
注意	ご利用上または設定上の注意事項を記載します。



●用語について

本書では情報収集を実行するサーバを[マネージャーサーバ]、情報収集の対象となるマシンを[対象マシン]と表記します。



用語	説明
マネージャーサーバ	Resource Athlete をインストールし、情報収集を実行するサーバです。
対象マシン	情報収集の対象となるマシンです。
クライアント	Resource Athlete のサービスの設定変更や、クエリの実行結果確認などを行なう GUI アプ
	リケーションです。本書ではクライアントはマネージャーサーバにインストールしますが、別のサ
	ーバにインストールすることも可能です。
サービス	マネージャーサーバに常駐し、クエリのスケジュール実行や、クライアントからのリクエストへの
	応答などを行なう Windows サービスです。
クエリ	情報収集対象のシステムから様々な情報を収集する機能です。収集する情報の種類毎
	に、クエリが存在します。
サブテーブル	クエリの実行結果が表示されるフィールドの 1 つです。収集した情報が複数ある場合(例え
	ば 1 つのフォルダーに対してアクセス権を持つユーザーアカウントが複数ある場合など)に、情
	報をリスト形式で表示します。
スコープ	情報収集対象の指定のことを指します。対象マシンの名前や、情報収集に利用するユー
	ザーアカウント、パスワード、タイプ(対象の種別)が含まれます。
スコープマスター	作成したスコープをすべて集めたものを指します。新規クエリ作成時は、スコープマスターから
	情報収集対象にしたいスコープを選択します。
スケジューラ	サービスが独自に持っている、クエリのスケジュール実行機能です。
フィルター	クエリの設定項目のひとつです。収集した情報の中から、必要な情報だけを抽出する機能
	です。フィルター条件を指定すると、その条件にマッチするデータだけが抽出されます。



# 第 <sup>1</sup>章 Resource Athlete の概要

この章では Resource Athlete の機能の概要について説明します。

#### 1. 概要

Resource Athleteは、フォルダーアクセス権の変更状況、不要ファイルや大容量ファイルの洗い出しなど、サーバリソースに関するあらゆる情報を可視化し、レポート化する統合型サーバマネジメントツールです。対象マシンからあらゆる情報をエージェントレスで取得することができるため、簡単に「使われていないファイルの洗い出し」や「大容量のフォルダーの検出」が可能です。

フォルダーアクセス権の監査ツールとして、また、ディスクの削減や無駄な情報資産の消去などの運用管理ツールとして利用することが できます。



# 2. ライセンス

Resource Athlete では、情報を収集する機能のことを「クエリ」と呼びます。

収集する情報の種類ごとにクエリが用意されており、この種類によって必要なライセンスが異なります。

収集する情報	クエリ	必要なライセンスの種類	ライセンスの説明
フォルダー/ファイル/共有リソ ース情報	フォルダークエリ ファイルクエリ 共有クエリ	サーバライセンス	クエリの対象マシン台数分 のライセンスが必要です。
アカウント情報	ユーザークエリ グループクエリ	アカウントライセンス	ドメインまたはローカルマシン に登録されているユーザーア カウント数分のライセンスが 必要です。
インベントリ(資産)情報	システム構成クエリ アプリケーションクエリ サービスクエリ プロセスクエリ	PC ライセンス(※)	クエリの対象マシン台数分 のライセンスが必要です。 ドメイン環境でのみ利用可 能です。

※PC ライセンスは、アカウントライセンスまたはサーバライセンスいずれかをご購入いただくことによって、購入数と同数のライセンスが付与されます。 ライセンスの販売体系については弊社営業部までお問い合わせください。



# 3. クエリ

Resource Athlete に用意されている各種クエリと、それにより取得できる情報を紹介します。

#### ● ユーザークエリ

ドメインユーザー、ローカルユーザーの情報を取得します。

ドメイン名	ユーザー名	表示名/フルネ ーム	説明	管 理 者 権限	パスワード 変更日時	最終ログオン日時	期限切れ パスワード
amiya.co.jp	suzuki	鈴木 利夫	経理	Yes	2010/9/14 8:38	2010/9/22 9:08	No
amiya.co.jp	satou	佐藤 浩	営業	No	2010/9/17 8:51	2010/9/22 8:30	No
amiya.co.jp	tanaka	田中 大輔	開発	No	2010/9/1 14:15	2010/9/22 10:27	No

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメイン名を取得します(ローカルユーザーの場合はマシン名)。
2	ユーザー名	ユーザー名を取得します。
3	ユーザーログオン名	ユーザーログオン名を取得します。
4	ユーザーログオン名 (windows2000 より前)	ユーザーログオン名(Windows2000 より前)を取得します。
5	姓	姓を取得します。
6	名	名を取得します。
7	イニシャル	イニシャルを取得します。
8	表示名/フルネーム	表示名またはフルネームを取得します。
9	説明	説明を取得します。
10	事業所	事業所を取得します。
11	電話番号	電話番号を取得します。
12	電子メール	電子メールを取得します。
13	Web ページ	Web ページを取得します。
14	郵便番号	郵便番号を取得します。
15	都道府県	都道府県を取得します。
16	市区町村	市区町村を取得します。
17	私書箱	私書箱を取得します。
18	番地	番地を取得します。
19	自宅 TEL	自宅の電話番号を取得します。
20	ポケットベル	ポケットベルを取得します。
21	携帯電話	携帯電話を取得します。
22	FAX	FAXを取得します。
23	IP 電話	IP 電話を取得します。
24	電話メモ	電話メモを取得します。
25	会社名	会社名を取得します。
26	部署	部署を取得します。
27	役職	役職を取得します。
28	無効アカウント	無効なアカウントの場合には Yes、そうでない場合には No となります。
29	ロックアウト	ロックアウトされている場合は Yes、そうでない場合には No となります。
30	管理者権限	管理者権限がある場合は Yes、そうでない場合には No となります。
31	無期限アカウント	無期限アカウントの場合は Yes、そうでない場合は No となります。

.....



32	パスワード変更日時	パスワード変更日時を取得します。
33	最終ログオン日時	最終ログオン日時を取得します。 最新の情報を取得するには、タイプ「ドメイン」のスコープを利用します(詳しく は『FAQ』の「第 2 章 運用 ユーザークエリの「最終ログオン日時」が正しくな い」を参照してください)。
34	無期限パスワード	パスワードが無期限の場合は Yes、そうでない場合には No となります。
35	期限切れパスワード	パスワードが期限切れの場合は Yes、そうでない場合には No となります。
36	コンテナ/OU	ユーザーが所属するコンテナ/OU の情報を取得します。
37	所属グループリスト	ユーザーが所属しているグループをリストで取得します(サブテーブル)。
37-1	所属グループ名	所属しているグループ名を取得します。

#### 🔵 グループクエリ

# ドメイングループ、ローカルグループの情報を取得します。

ドメイン名	グループ名	説明	メンバーリスト
			ユーサー名
amiya.co.jp	E-Group1	第一営業グループ	satou
			yamazaki
			nagata

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメイン名を取得します(ローカルグループの場合はマシン名)。
2	グループ名	グループ名を取得します。
3	コンテナ/OU	グループが所属するコンテナ/OU の情報を取得します。
4	説明	説明を取得します。
5	メンバーリスト	このグループに所属しているメンバーをリストで取得します(サブテーブル)。
5-1	ユーザー名	メンバーの名前を取得します。
6	所属グループリスト	このグループが所属しているグループをリストで取得します(サブテーブル)。
6-1	所属グループ名	所属グループ名を取得します。



.....

#### 🔵 フォルダークエリ

#### 対象マシンのフォルダー情報を取得します。

21/10/27	コミング コルパフ	武士书	#17	アクセス権リスト			
F>1-74	マンク	710112		918	許可の状態	アカウント	許可の種類
amiya.co <u>.j</u> p	SVR01	C:¥業務¥	amiya.co.jp¥suzuki	116224	許可−	CREATOR OWNER	フルコントロール
					拒否-	amiya.co.jp¥suzuki	変更

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメインに所属していない場合は、ワークグループ名を取得します。
2	マシン名	マシン名を取得します。
3	フルパス	フルパスを取得します。
4	フォルダー名	フォルダー名を取得します。
5	階層	スコープに設定した収集対象パスを 0 として、そこから数えた階層数を取得します。
6	所有者	所有者を取得します。
7	最終アクセス日時	最終アクセス日時を取得します。
8	作成日	作成日を取得します。
9	ファイル数	フォルダーの直下にあるファイル総数を取得します。
10	フォルダー数	フォルダーの直下にあるフォルダー総数を取得します。
11	サイズ	フォルダーの直下にあるファイルサイズの合計を取得します(単位:バイト)。
12	属性	フォルダーの属性を取得します。
13	アクセス権リスト	NTFS アクセス権をリストで取得します(サブテーブル)。
13-1	許可の状態	継承されたアクセス権の場合は「-」がつきます。
13-2	グループ	アカウントの所属するグループ名を取得します(グループ展開オプションが YES の 場合のみ)。
13-3	アカウント	アカウントを取得します。
13-4	表示名	アカウントの表示名を取得します(グループ展開オプションが YESの場合のみ)。
13-5	アカウントの説明	アカウントの説明を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
13-6	許可の種類	アクセス許可の名称を取得します(「フルコントロール」「読み取りと実行」「特殊」など)。
13-7	適用先	アクセス権が適用される範囲を取得します。
13-8	許可の種類の詳細	許可の種類の詳細を取得します。取得した値の意味は以下のとおりです。 Tr/Ex:フォルダーのスキャン/ファイルの実行 Lf/Rd:フォルダーの一覧/データの読み取り Ra:属性の読み取り Cfi/Wd:ファイルの作成/データの書き込み Cfo/Ad:フォルダーの作成/データの追加 Wa:属性の書き込み Wea:拡張属性の書き込み Dc:サブフォルダーとファイルの削除 D:削除 Rp:アクセス許可の読み取り P:アクセス許可の変更 O:所有権の取得 S:同期許可 Special:特殊



● ファイルクエリ								
対	象マシンのフ	ファイル情幸	<b>最を取得します</b> 。					
	ドメイン名	マシン名	フルパス	ファイル名	所有者	最終アクセス日 時	最終更新 日時	サイズ
	amiya.co.jp	SVR01	C:¥業務¥オリジナ ル¥勤務表.xls	勤務表.xls	amiya.co.jp¥suzuki	2011/1/11 9:42	2010/4/30 14:06	116224

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメインに所属していない場合は、ワークグループ名を取得します。
2	マシン名	マシン名を取得します。
3	フルパス	フルパスを取得します。
4	ファイル名	ファイル名を取得します。
5	階層	スコープに設定した収集対象パスを 0 として、そこから数えた階層数を取得します。
6	所有者	所有者を取得します。
7	最終アクセス日時	最終アクセス日時を取得します。 対象マシンが Windows Server の場合、OS の設定を変更する必要がありま す。(FAQ「ファイルのアクセス日時が更新されない」を参照) ※ユーザーの操作ではなく、バックアップソフトやアンチウィルスなどがファイルに アクセスしても、アクセス日時が更新される場合があります。
8	最終更新日時	最終更新日時を取得します。
9	作成日	作成日を取得します。
10	属性	属性を取得します。
11	サイズ	サイズを取得します(単位:バイト)。
12	重複グループナンバー	重複したファイルをグルーピングしたときのグループ番号です(「重複ファイルを 抽出する」が はい のときのみ)。
13	重複数	重複したファイルをグルーピングしたときの重複数カウントです(「重複ファイルを 抽出する」が はい のときのみ)。
14	アクセス権リスト	NTFS アクセス権をリストで取得します(サブテーブル)。
14-1	許可の状態	継承されたアクセス権の場合は「-」がつきます。
14-2	グループ	アカウントの所属するグループ名を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
14-3	アカウント	アカウントを取得します。
14-4	表示名	アカウントの表示名を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
14-5	アカウントの説明	アカウントの説明を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
14-6	許可の種類	アクセス許可の名称を取得します(「フルコントロール」「読み取りと実行」「特殊」など)。
14-7	適用先	アクセス権が適用される範囲を取得します。
14-8	許可の種類の詳細	許可の種類の詳細を取得します。 ※詳細の内容はフォルダークエリの 13-8 許可の種類の詳細と同様です。



.....



#### ● 共有クエリ

#### 対象マシンの共有リソース情報を取得します(共有フォルダー、共有プリンタなど)。

ドメイン名	マシン名	共 有リソ ース名	共有リソースの 種類	管理共有	共有パス	所有者
amiya.co.jp	SVR01	共有	フォルダー	No	¥¥SVR01¥共有	BUILTIN¥Administrators
amiya.co.jp	SVR01	営業	フォルダー	No	¥¥SVR01¥営業	amiya.co.jp¥suzuki
amiya.co.jp	SVR01	技術	フォルダー	No	¥¥SVR01¥技術	amiya.co.jp¥yamada

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメインに所属していない場合は、ワークグループ名を取得します。
2	マシン名	マシン名を取得します。
3	共有リソース名	共有リソース名を取得します。
4	共有リソースの種類	フォルダー、デバイス等の共有の種類を取得します。
5	管理共有	管理共有の場合は Yes、そうでない場合には No となります。
6	フルパス	フルパスを取得します。
7	共有パス	共有パスを取得します。
8	所有者	所有者を取得します。
9	アクセス権リスト	共有アクセス権をリストで取得します(サブテーブル)。
9-1	グループ	アカウントの所属するグループ名を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
9-2	アカウント	アカウントを取得します。
9-2	表示名	アカウントの表示名を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
9-3	アカウントの説明	アカウントの説明を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
9-4	許可の種類	アクセス許可の名称を取得します(「フルコントロール」「読み取り」など)。
9-5	許可の状態	許可の状態を取得します。継承されたアクセス権の場合は「-」がつきます。
10	アクセス権リスト(NTFS)	NTFS アクセス権をリストで取得します(サブテーブル)。
10-1	許可の状態(NTFS)	許可の状態を取得します。継承されたアクセス権の場合は「-」がつきます。
10-2	グループ(NTFS)	アカウントの所属するグループ名を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
10-3	アカウント(NTFS)	アカウントを取得します。
10-4	表示名(NTFS)	アカウントの表示名を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
10-5	アカウントの説明(NTFS)	アカウントの説明を取得します(グループ展開オプションが YES の場合のみ)。
10-6	許可の種類(NTFS)	アクセス許可の名称を取得します(「フルコントロール」「読み取りと実行」「特殊」など)。
10-7	適用先(NTFS)	アクセス権が適用される範囲を取得します。
10-8	許可の種類の詳細(NTFS)	許可の種類の詳細を取得します。 ※詳細の内容はフォルダークエリの 13-8 許可の種類の詳細と同様です。



#### ● システム構成クエリ

Ľ	ダメノノシンクノム1年15月日にのよう。							
	ドメイン名	マシン名	OS バージョン	SP バージョン	使用者名	メモリ容量	メモリ使用量	
	amiya.co.jp	SVR01	Microsoft Windows Server 2019 Standard	1	Windows ユーザー	8579710976	6573924352	

비미미 察물		비미미 建昌	ד, וא ק חו		ドライブ別詳細	
				ОГО Юл₽	ドライブ名	ファイルシステム
					C:	NTFS
1660234653696	657957306368	1002277347328	192.168.0.38	3	D:	FAT32
					E:	NTFS
					G:	NTFS

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメインに所属していない場合は、ワークグループ名を取得します。
2	マシン名	マシン名を取得します。
3	OS バージョン	OS のバージョンを取得します。
4	SP バージョン	SP のバージョンを取得します。
5	組織名	組織名を取得します。
6	使用者名	使用者名を取得します。
7	メモリ容量	メモリの容量を取得します(単位:バイト)。
8	メモリ使用量	メモリの使用量を取得します(単位:バイト)。
9	HDD 容量	HDD の容量を取得します(単位:バイト)。
10	HDD 使用量	HDD の使用量を取得します(単位:バイト)。
11	HDD 残量	HDD の残量を取得します(単位:バイト)。
12	ドライブ別詳細	ドライブ別の詳細情報を取得します(サブテーブル)。
12-1	ドライブ名	ドライブ名を取得します。
12-2	トータル容量	HDDの容量を取得します(単位:バイト)。
12-3	残容量	HDDの残容量を取得します(単位:バイト)。
12-4	使用量	HDD の使用量を取得します(単位:バイト)。
12-5	ファイルシステム	ファイルシステムの情報を取得します。
12-6	HDD S/N	ハードディスクのシリアルナンバーを取得します。
12-7	ボリュームラベル	ボリュームラベルを取得します。
13	IP アドレス	IP アドレスを取得します。
14	サブネットマスク	サブネットマスクを取得します。
15	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを取得します。
16	MAC アドレス	MAC アドレスを取得します。
17	プロセッサ種別	プロセッサの種別情報を取得します。
18	CPU 使用率(%)	CPUの使用率を取得します。



.....

#### ● アプリケーションクエリ

対象マシンにインストールされているアプリケーションの情報を取得します。

ドメイン名	マシン名	アプリケーション名	バージョン	発行元	タイプ	
ami va an in	S\/D01	SQL Server 2012 Ø Service Pack 3	11 2 6020 0	Microsoft	更新プログラ	
amiya.co.jp	SVRUI	(KB3072779)(64-bit)	11.3.0020.0	Corporation	Ь	
amiya.co.jp	SVR01	ALog 管理コンソール	5.0	Amiya	Application	
amiya.co.jp	SVR01	アクセスログ検索システム	4.0	Amiya	Application	

#### 取得できる項目は以下のとおりです。

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメインに所属していない場合は、ワークグループ名を取得します。
2	マシン名	マシン名を取得します。
3	アプリケーション名	アプリケーション名を取得します。
4	バージョン	バージョンを取得します。
5	発行元	発行元を取得します。
6	タイプ	アプリケーションの種類(Application/更新プログラム)を取得します。

#### ● サービスクエリ

#### 対象マシンの Windows サービスの情報を取得します。

ドメイン名	マシン名	サービス名	表示名	説明
amiya.co.jp	SVR01	SQLAgent\$ALOG	SQL Server (ALOG)	ストレージ、データの処理と制御された アクセス、および高速なトランザクション 処理を提供します。
amiya.co.jp	SVR01	AuditorService	Resource Athlete	クエリの制御機能を提供します。
amiya.co.jp	SVR01	ALogAlertCheckService	ALogAlertCheckService	ALog ConVerter のアラートを監視する 機能を提供します。

実行ファイルのパス	サービスの状態
C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL10_50.ALOG¥MSSQL¥Binn¥sqlservr.exe	開始
C:¥Program Files (x86)¥Amiya¥Auditor¥AuditorService.exe	開始
C:¥Program Files (x86)¥Amiya¥ALogManagerConsole¥ALogAlertCheckService.exe	開始

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメインに所属していない場合は、ワークグループ名を取得します。
2	マシン名	マシン名を取得します。
3	サービス名	サービス名を取得します。
4	表示名	表示名を取得します。
5	説明	説明を取得します。
6	実行ファイルのパス	実行ファイルのパスを取得します。
7	スタートアップの種類	スタートアップの種類を取得します。
8	サービスの状態	サービスの状態を取得します。
9	サービス実行アカウント	サービス実行アカウントを取得します。



.....

#### ● プロセスクエリ

#### 対象マシンで起動されているプロセスの情報を取得します。

ドメイン名	マシン名	プロセス名	ユーザー名	パス
amiya.co.jp	SVR01	cmd.exe	amiya.co.jp¥suzuki	C:¥Windows¥SysWOW64¥cmd.exe
amiya.co.jp	SVR01	bvtask.exe	amiya.co.jp¥suzuki	E:¥ALogWin¥bin¥bvtask.exe
amiya.co.jp	SVR01	atproc.exe	amiya.co.jp¥suzuki	E:¥alog_remote¥bin¥atproc.exe

#### 取得できる項目は以下のとおりです。

NO	項目名	説明
1	ドメイン名	ドメインに所属していない場合は、ワークグループ名を取得します。
2	マシン名	マシン名を取得します。
3	プロセス名	プロセス名を取得します。
4	ユーザー名	プロセスの実行ユーザー名を取得します。
5	パス	プロセスの実行パスを取得します。

# 4. クエリの実行時間とデータサイズ

#### 各クエリの実行に要する時間、および取得データサイズの参考値は以下のとおりです。

лтн	宝行時間	取得データのサイズ(MB)			<b>计测久</b> 从	
919	关门时间	DB	CSV	PDF		
ユーザー	0:05:17	7.0	3.9	9.5	20000 ユーザー	
グループ	0:03:56	5.0	0.73	0.95	100 グループ(1 グループに 200 ユーザー所属)	
ファイル	0:58:28	2093	969	72.1	100 万ファイル(1 ファイルに 14 のアクセス権)	
フォルダー	1:14:49	2278	1337	82.6	100 万フォルダー(1 フォルダーに 14 のアクセス権)	
共有	0:00:14	0.289	0.007	0.047	14 共有	
システム構成	0:00:13	0.289	0.001	0.036		
アプリケーション	0:00:12	0.289	0.001	0.031		
サービス	0:00:12	0.359	0.052	0.151		
プロセス	0:00:12	0.297	0.004	0.032		

#### 上記の参考値は以下の環境で測定されています。

	マネージャーサーバ	対象マシン
OS	WindowsServer2012 R2	WindowsServer2012
CPU	Xeon E3 1220v2 3.10GHz	Xeon E3 1226v3 3.30GHz
RAM	16GB	16GB

※すべての数値は参考値です。パフォーマンスを保証するものではありません。

※マネージャーサーバ、対象マシンの環境やネットワーク状態によってクエリ実行時間は異なります。



# 5. 動作環境

# 5-1. マネージャーサーバ

マネージャーサーバの動作環境	意は以下です。
項目	条件
	Windows Server 2012 / 2012 R2
	Windows Server 2016
	Windows Server 2019
対応 OS	Windows Server 2022
	※各 OS のサービスパック(SP)に対応
	※各エディション(Standard / Enterprise / Datacenter)に対応
	※仮想環境(VMWare, Hyper-V, Citrix XenServer)に対応
CPU	Dual Core 以上(推奨 Quad Core 以上)
メモリ	4GB 以上(推奨 8GB 以上)
い」にゴノフクの号	100GB 以上の空き容量
	※データの保存用に別途空き容量を確保する必要があります
必要ソフトウェア	.NET Framework 4.8 以降

# 5-2. 対象マシン

†象マシンの動作環境は以	し下です。
項目	条件
Windows	Windows Server 2012 / 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows Storage Server 2012 / 2012 R2 Windows Storage Server 2016 Windows Server IoT 2019 Windows 8.1 / 10 / 11 *1 ※各 OS のサービスパック(SP)に対応
NetApp	※19-77 OS は Standard / Enterprise / DataGenter に対応。 ※仮想環境(VMWare, Hyper-V, Citrix XenServer)に対応 Data ONTAP *2
EMC	Unity *2
PowerScale(Isilon)	OneFS *2
Amazon Web Services	Amazon FSx for Windows File Server *2*3 Amazon FSx for NetApp ONTAP *2

\*1 インベントリ(資産)情報クエリのみ対応

\*2 CIFS 領域に対するフォルダー/ファイル/共有リソース情報クエリのみ対応

\*3 共有クエリで「IPC\$」に対する情報取得のみ非対応



#### 5-3. 対象マシンの動作環境

#### ●動作条件

・対象マシンからマネージャーサーバまでの経路が、100Mbps 以上の LAN 環境であること。100Mbps 未満の LAN 環境や WAN 環境

を経由すると、クエリのパフォーマンスが低下する場合があります(1GbpsLAN 環境推奨)

・WMI(Windows Management Instrumentation)サービスが利用できること

・次のポートが使用できること

ポート番号	主な用途
TCP135	WMI(マシン情報取得)
UDP137	ADSI(ローカルユーザーの取得)
UDP138	ADSI(ローカルユーザーの取得)
TCP139	ADSI(ローカルユーザーの取得)
TCP389	ADSI(ドメイン情報の取得)
TCP445	SMB(ファイル共有)
TCP 動的ポート	WMI(クエリ実行)

※動的ポートの割り当て範囲は以下のコマンドを実行して結果を確認します。 netsh interface ipv4 show dynamicport tcp

・対象マシンがクライアント OS の場合は、ドメインに参加していること



# 第 2章 Resource Athlete の構築

この章では Resource Athlete の構築に関して順に説明します。

<u>Step 1.</u>構築前の準備

Resource Athlete を導入する前に、以下の各項目に記載されているものを用意する必要があります。

#### Resource Athlete のセットアッププログラム

Resource Athlete を構築するにあたって準備するものは以下の通りです。

•Resource Athlete のセットアッププログラム一式

・ライセンスキー証書 兼 保守サービス証書

#### Resource Athlete のライセンスキー

ライセンスキーは、Resource Athlete のライセンスキー証書兼ソフトウェア保守契約確認書に記載されています。 評価目的の場合、別途案内による評価用のライセンスキーが必要です。

#### ●アカウント権限

Resource Athlete の構成や、導入する環境に応じてサーバの管理者アカウントが必要です。

#### ●対象マシンへ他サービスから net use 接続されている場合

対象マシンに Resource Athlete 以外のサービスが Local System アカウントで net use 接続している場合、Resource Athlete サービスのログオンユーザーを Local System アカウントから別途作成した Administrators 権限をもつ専用のユーザーアカウントに変更 することを推奨します。

詳細につきましては、『FAQ(Resource Athlete)』の「第2章 運用」を参照してください。

なお、ALog ConVerter マネージャーサーバと Resource Athlete が同一サーバ上に共存している場合も該当しますので、ご注意 ください。



# Step 2. Resource Athlete のインストール

#### Step 2-1. Resource Athlete のインストール

Resource Athlete のインストールを行います。マネージャーサーバに管理者権限をもつアカウントでログオンしてください。 以下はサービスとクライアントを同じサーバに構築する際の手順になります。



Resource Athlete の動作に必要な.NET Framework 4.8 がマネージャーサーバにインストールされていない 場合、インストールを促すダイアログが表示されます。 画面に従ってインストールを実行してください。.NET Framework のインストーラーの判定により OS 再起動が必要な場合があります。 その場合は、OS 再起動 後改めてセットアッププログラムを実行してください。

1) Resource A 認知両五がま	thlete のセットアッププロクラムを実行する ニされます、言語を溜切し「のパギタンちた	と言語 4) インストール先を確認し[次へ]ホタンをクリックします。
選択画面が表す。 ます。	示されまり。言語を選択し[UK]ホタノを>	インストール先の指定 Resource Athlete のインストール先を指定してください。
セットアップに使用する言語の違	選択 ×	Resource Athlete をインストールするフォルガを指定して、「次へ」をクリックレアください。
インストール中に利用	する言語を選んでください:	なけるに仕じかん iを力いいし、アイギン、 別のつき ルダーを発行するに付け、余裕 (を) シリンク いとの い
		C::Program Files (x8G) 4 Amilya/Resource Athlete
	ок ++>>tэl	
2) 内容を確認	し[次へ]ボタンをクリックします。	
🎼 Resource Athlete セット		このブログラムは最低 187.0 MB のディスク空き領域を必要とします。
Resource Athlete.	Resource Athlete セットアップウィザードの 開始	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル
	このプログラムはご使用のコンピューターへ Resource Athlete をインストー ルします。	
	続行する前に他のアプリケーションをすべて終了してください。	5)1ノストール9るコンホーネントを選択し[次へ]ホタンをクリック
TASE	続行するには「次へ」、セットアップを終了するには「キャンセル」をクリックし てください。	
		Resource Athlete ゼットアップ ー X
		コンボーネントの選択 インストールコンボーネントを選択してください。
		インストールするコンボーネントを選択してください。インストールする必要のないコンボーネントはチェック を外してください。続行するには「次へ」をクリックしてください。
		אנאאור אגעאוור
	次へ(N) > キャンセル	「サービス 108.3 MB
		- 165.4 MB マドキュメント (日本語版) 5.3 MB
3) 内容を確認	?し[同意する]にチェックを入れ[次へ]ボタ	ンをクリ
Resource Athlete 7%	- 「 ×	
使用許諾契約書の同意 統行する前に以下の重	要な情報をお読みください。	現在の資把は最低 353.9 MB のディスク空き領域を必要とします。
以下の使用許諾契約書 あります。	書をお読みべださい。インストールを続行するにはこの契約書に同意する必要が	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル
	<ご使用前に必ずお読み下さい>	
お買い上げいただきましたAL 次の使用許諾契約書(以下、	osシリーズソフトウェア製品(以下、「本ライセンス製品」といいます)をお使いてなる前に、 「本契約」といいます)をよくお読み下さい。古客様が、本ライヤンス製品が記録されている。	
媒体(以下、「メディア」といい によって、本契約のすべての	ます)のパッケージを開きし本ライセンス製品をサーバハードウェアにインストールしたこと 条件に同意したものとみなだわます。本契約の条件に同意して頂けたい場合には、本ライ	
センス製品をサーバハードウ 製品をご返却下さいた客様	ェアにインストールせず、お買い上げになった販売店あてに領収書を添えて本ライセンス がすでに支払われた使用料注意認知会類をご読合数にます(描述手数数11まを案件の負担と	クライアントは別の PC にインストールすることもできま
なります。)。		
	伸田 許 謹 切 約 畫 🛛 💙	
<ul> <li>同意する(A)</li> <li>○同意しない(D)</li> </ul>		6)インストール内容を確認し[インストール]ボタンをクリックしま
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	す。



#### ユーザーズガイド(Resource Athlete)



#### Step 2-2. 初期セットアップ

1) サーバ名を入力し[OK]ボタンをクリックします。

🔋 サービスへの接続	$\times$
サーバ名 W2019-OSK-H1	~
ポート 5100 🚖	
OK キャンセル	



#### 2) 内容を確認し[次へ]ボタンをクリックします。



#### ユーザーズガイド(Resource Athlete)

2/0/0/2017/0/0/10/1	×	サービス初期セットアップリイサート	×
ルダーの指定	Resource Athlete	ライセンスの登録	Resource Athlete
リケーションで使用する各フォルダーのパスを指 して下さい。	Resource Adhere.	ライセンスキーを入力して下さい。	Acoulte Athen
リケーション設定フォルダー (Auditor	参照	ライセンスキー	
なルトのファイル出力フォルダー	1.00		参照
		U 712774~&AJL 60067127A771768	998UU 12U
● システムサーバ上のパスを指定して下さい。 ※システムドライブの指定は避け、十分な空き容量が確保できる <戻る(E)	ドライブを指定して下さい。		< 戻る個 次へ(11) > キャンセル
クエリの実行結果データ レント クエリの実行結果データ ムドライブ以外のパスを指	等が格納されますので、システ 育定することを推奨します。	6)サービス初期セットアップウィ すので[完了]ボタンをクリックして サービス初期セットアップウィザード	ザードの完了画面が表示さ 終了します。 ×
マネージャーサーバに接続できるユ-	ーザーを追加し[次へ]ボタ	<b>サービス初期セットアップウィザードの完了</b> 以下の通りサービスをセットアップします。	Resource Athlete
		アプリケーション設定フォルダー	
	×	C:¥Auditor	
ービス初期セットアップワイサート		デフォルトのファイル出力フォルダー	
ービス初期セットアッフワイサート <b>装装ユーザー</b> 続を許可するユーザーを指定して下さい。	Resource Athlete.	デフォルトのファイル出力フォルダー C:¥Auditor¥export 接続ユーザー 今てのコーザーの接続た社立する	
ービス初期セットアッフワイサート <b>統立 ーザー</b> 続を許可するユーザーを指定して下さい。 接続ユーザー	Resource Athlete.	<b>テフォルトのファイル出力フォルダ</b> ー C¥Auditor¥export <b>接会ユーザー</b> 全てのユーザーの接続を許可する	
ービス初期セットアップワイサート 線査 <b>ューザー</b> 線徳を許可するユーザーを指定して下さい。 接続ユーザー ユーザー ローザー 管理者 編集 編	Resource Athlete.	<b>テフォルトのフィイル出力フォルダー</b> C¥Auditor¥export <b>接続ユーザー</b> 全てのユーザーの接続を許可する	
ービス初期セットアッフワイサート 続えーザー 続た許可するユーザーを指定して下さい。 推続ユーザー ユーザー ローブーグ 管理者 福集 編集 編集	Resource Athlete.	テフォルトのファイル出力フォルター CドAuditor¥export 接てのユーザーの接続を許可する 全てのユーザーの接続を許可する	
-ビス初期セットアッフワイサート	Resource Athlete.	テフォルトのフィイル出力フォルダー C:¥Auditor¥export 接続ユーザー 全てのユーザーの接続を許可する   ウィザードを完了するには、「完了」をかリックして下さい。	< 戻る(B) <u>完了(N)</u> キャンセル
- ビス初期セットアップワイサート	Resource Athlete.	テフォルトのフィイル出力フォルター C×Auditor¥export 接てのユーザーの接続を許可する 全てのユーザーの接続を許可する	< 戻る個 <u>完了(N)</u> キャンセル
-ビス初期セットアップワイサート 続えザ- 線統計可するユーザーを指定して下さい。 <u> 接続ユーザー</u> ユーザー 管理者 ス <u>コープ グ</u> 編集 編	Resource Athlete. 丁 「 道馬加(A) 通標(E) 同形(D) 本 大 大 (M) > キャンセル	テフォルトのフィイル出力フォルダー C:¥Auditor¥export 接続ユーザー 全てのユーザーの接続を許可する	< 戻る(B) <u>完了(N)</u> キャンセル
-ビス初期セットアップワイサート 続きコーザー 続き許可するユーザーを指定して下さい。	Resource Athlete.	<b>テフォルトのフィイル出力フォルタ</b> ー C:¥Auditor¥export 接会ユーザー 全てのユーザーの接続を許可する	<戻る(B) <u>完了(N)</u> キャンセル
-ビス初期セットアップワイサート 続ユーザー 繊統ユーザー ユーザー マーザー マーザー 電理者 「2-ザー」 管理者 「2-ザー」 管理者 「2-ザーが未設定の場合は、全てのユーザーが接続出来ま (戻る医) 未設定の場合は、全ユー 登録するユーザーはロープ る必要があります。	Resource Athlete.	テフォルトのフィイル出力フォルター C¥Auditor¥export 接会ユーザー 全てのユーザーの接続を許可する	<戻る(E) <u>完了(N)</u> キャンセル



#### Step 2-3. スコープの登録

情報収集対象の指定(対象マシン名や、情報収集に利用するユーザーアカウント名など)のことを「スコープ」と呼びます。 ここでは、スコープの登録を行ないます。

#### 1)[スコープマスター]ボタンをクリックします。



#### 2) [対象の追加] ボタンをクリックします。

●対象の追加 なグループの作成 業削除 ▲ アカウントの設定 対象 アカウント タイプ 3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
対象 アカウント タイプ 3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
   3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
   3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
) 3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
   3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
   3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
 3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
3)対象マシン名、タイプ、ユーザー名、パスワードを入力し
[OK]ボタンをクリックします。
対象の追加 ×
タイプ Windows 〜
対象名
① 改行で複数の対象マシンを指定できます。タイプ「ドメイン」の場合は ドメイン名またはドメインコントローラーで指定して下さい。
2-5-8
パスワード
OK キャンセル



#### タイプは、対象マシンの種別を表します。

タイプによう	て、実行に	リ能なクエ	リか異なりま	<b>ग</b> ∘

タイプ	対象マシンの種別	実行可能なクエリ
Windows	Windows マシン	ユーザークエリ
		グループクエリ
		対象マシンのローカルアカウント情報
		(※1)を取得
		フォルダークエリ
		ファイルクエリ
		共有クエリ
		対象マシンのファイル/フォルダー情報
		を取得
		アプリケーションクエリ
		サービスクエリ
		システム構成クエリ
		プロセスクエリ
		対象マシンのインベントリ情報を取得
NAS	NAS	フォルダークエリ
	(NetApp,EMC,	ファイルクエリ
	PowerScale(Isilon))	共有クエリ
		対象 NAS の CIFS 領域のファイル/
		フォルダー情報を取得
ドメイン	Active Directory ド	ユーザークエリ
	メイン	グループクエリ
		対象ドメインのドメインアカウント情
		報 (※2)を取得
		アプリケーションクエリ
		サービスクエリ
		システム構成クエリ
		フロセスクエリ
		対象ドメインに参加する全マシンのイ
		レベントリ情報を取得

※1 ドメインコントローラーを指定した場合は、ドメインアカウント情報を 取得します。

※2 タイプ「ドメイン」のスコープに対してアカウント情報クエリを実行す る場合のみ、スコープのユーザー名としてドメインの一般ユーザーを指 定できます。



# Step 2-4. クエリの新規追加

1)新規クエリ	の追加を行います。メニューアイコンから[クエリの〕	4)対象スコープ	を一覧から選択し[次へ]ボタンをクリックしま	す。
加]ボタンをク	リックします。	クエリの新規追加ウィザード 対象スコープの選択	×	
クエリの新規追加ウィザード	×	収集対象のマシンを選択して下さい。	Resource Athlete.	
Resource Athlete.	新規クエリ追加ウィザードの開始	対象 ──☑■ server1		
	このウィザードではクエリを新規に追加します。			
	クエリを選択し、タスクのスケジュールを行います。			
S. Farmer				
**				
		全て選択 全て解除	אַגדיל-בג	
MC	統行するには、じたへきクリックしてください。		< 戻る(8) 次へ(10) > キャンセル	
	< 戻る(0) 【 次への) キャンセル			
a > L			   対象スコープがない場合は、「スコープマスター]フ	ボタンを
2)クエリを選	沢します(本書では[ユーサークエリ]を追加します)。		押下してスコープを登録してください。	
内容を確認	し[次へ]ホタンをクリックします。			
クエリの新規追加ウィリート クエリの選択	Resource Athlete.		ファイルクエリ、フォルタークエリを選択した場合に   面右に「収集対象パス」ボタンが表示されます。	-は、回 。ここで
収集するクエリを選択して下さい	•		指定したフォルダー配下のファイル/フォルダー情	報を収
<ul> <li>□ テンフレートから選択</li> <li>□ ご カテゴリから選択</li> <li>□ ご カテゴリから選択</li> </ul>		EDF	集します。	
- 🚰 グループクエリ 🗐 ファイルクエリ 🗇 フォルダークエリ	出力 フィールド フィルター 説明 ヘ     「「「」」「「」」」「」」「」」」「」」」「」」」」」」     「」」「」」」」」     「」」」」」     「」」」」」     「」」」」     「」」」」     「」」」     「」」」     「」」     「」」     「」」     「」」     「」」     「」」     「     「」     「     「」     「     「」     「     「」     「	_		
	☑         2-ザー名           ☑         2-ザー名           ☑         2-ザー名	5)タスクスケジ	ュールの設定を確認し[次へ]ボタンをクリッ	ヮしま
	ユーザーログオン名(wi     サ     サ	す。		
		クエリの新規温加ウィザード タスクスケジュールの設定	Resource Athlete	
	ダ 表示名/フルネーム     ドメインユーザーの地     「     マ    取用	タスクのスケジュールを設定して下さい。	Resource Athlete.	
	ジ 事実所           ジ 電話参号	タスクの状態 🖲 有効 〇 無	1930	
	<	スケジュールタイプ 日単位	◇ 開始4時刻 1:00  ◆	
	全て選択 全て解除 オブション(の) リセット(R)			
	TROUD TRUTT TTOEN			
		*		
	りエリを選択すると、取得項日の一見が石側に衣示			
ヒント	必要に応じて設定を変更してください。			
3)クエリ名を	入力し[次へ]をクリックします。			
クエリの新規追加ウィザード <b>クエリタ</b>	×		< 戻ら(8) (7次へ(10) > ) キャンセル	
クエリの名前を入力して下さい。	Resource Athlete.		の恐った変烈し「次々」ギャンたりしいり」キ	+
クエリ名		クエリの新規追加ウィザード	の設定を確認し、「次ハ」ホタフをワリックしま	<b>9</b> °
クエリの概要説明(任意)		ファイル出力の設定	Resource Athlete.	
		ファイル出力に関する指定をして下さい	6	
		<b>ファイル出力</b> ○ 有効 ● 第 ファイルタイプ CSVH力	無効 オブション(0)	
		出力タイプ 全件出力		
		出力先フォルダー <ol> <li>デフォルト</li> <li>() 任意指定</li> </ol>	CMAuditorVexport	
		□年間₩₩	□ ネットワーク上の共有フォルダーに出力する アカウント(A) YYMM/のサブフォルダーに出力する	
		ファイル名 ◎ 自動設定	ユーザークエリー(yyyy-MM-dd-HHmmss) csv	
		○ 任意指定		
	< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル	自動削除 ) 次の期間を ) 次の履歴税	保持する 1 € 日 ✓ た保持する 1 €	
		<ul> <li>自動削除し</li> </ul>	ない	
			2 11 2 MA	
			< 戻る(8) (次へ(1)) キャンセル	





#### Step 2-5. クエリの手動実行





4)実行履歴に先ほど実行したクエリの実行結果が表示されて います。取得件数をクリックしクエリ結果ビューアーを起動しま

<b>9</b> °						
Resource Athlete					-	
アイルビ シリーズ (2) スコープ(3) ツール(1) (1) マール(2) スコープ(3) ツール(1) (1) マール(2) スコープ(3) マール(2) (1) マール(2) マール(2) マール(2) マール(2) (1) マール(2) マール(2) マール(2) マール(2) マール(2) (1) マール(2) マ	メッセージ()			Re	source	Athlet
■クエリの追加 (2017-70/Fpt) ※用原 	カテゴリ 🙎 クエリ名 ユ 概要	ューザークエリ ーザークエリ				編集( <u>E</u> )
	実行履歴—	開始研究	終了時刻	進行時間	ED(#(42)	1
	◎ 正常総7	2021/09/02 16	46 2021/09/02 16:46	00:00:01	5	

-	1.0	(m) = 0.0							
79	13	ND &TU	9-14D						
	77	イルに保存(S) 🔼	PDFで表示						
_	No	トメイン名	ユーザー名	ユーザーログオン名	ユーザーログオン名(windows 2000より前)	姓	名	イニシャル	表示名/フルネー
·	1	W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥Administrator	Administrator	Administrator				
	2	2 W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥DefaultAccount	DefaultAccount	DefaultAccount				
	3	8 W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥Guest	Guest	Guest				
	4	W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥testuset	testuset	testuset				test,user
	5	5 W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥WDAGUtilityAccount	WD AGU tility Account	WDAGUtility Account				

以上で Resource Athlete のインストール、及び基本的な設定は完了です。次の章以降は Resource Athlete の基本操作になります。必要に応じて運用の際にお読みください





この章では Resource Athlete クライアントの基本操作や機能について説明します。クライアントでは、Resource Athlete の基本設定 の確認や変更、クエリの手動実行や実行結果の確認などを行ないます。

# 1. 起動方法

デスクトップに作成されたアイコンをダブルクリックすると、クライアントが起動します。スタートメニューから起動することもできます。



# 2. クライアントの画面説明

クライアントの画面構成は以下のとおりです。クライアントの画面は[メインメニューエリア]、[コマンドアイコンエリア]、[クエリツリーエリア]、 [情報&設定エリア]で構成されています。以後の説明ではこれらの名称を用います。

Resource Athlete		$ \Box$ $\times$
דעוריד אורדי אין אין אין אין אין אין אין אין אין אי	メッセージ(M) ヘルプ(H) メインメニューエリア	Resource Athlete.
サービスに接続 タスクスケジュール スコープマスター	メッセージ 最新の情報に更新	
<ul> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	カテゴリ 😭 ファイルクエリ(サブクエリ) クエリ名 ファイルクエリのサブクエリ 概要	編集( <u>E</u> )
<ul> <li>□ ファイルクエリ</li> <li>① フォルダークエリ</li> <li>□ □ セスクエリ</li> <li>□ □ セスクエリ</li> <li>□ □ セスクエリ</li> <li>□ □ □ ・ ザークエリ</li> <li>□ □ ・ ザークエリ</li> <li>□ □ ・ ザークエリ</li> </ul>	- 実行履歴 ステータス 開始時刻 終了時刻 実行時間	<b>訂 取得件数</b>
クエリツリーエリア 接続したマネージャーサーバに て登録済みのクエリがツリー状 に表示されます	<b>情報&amp;設定エリア</b> クエリツリーエリアで選択されたクエ や設定の変更等が行えます。	ニリのステータス表示



# 3. 各種エリア概要

#### 3-1. メインメニューエリア

メインメニューエリアは、各種操作、設定を行うことができます。

ファイル(F) クエリ(Q) スコープ(S) ツール(T) メッセージ(M) ヘルプ(H)

#### 操作できる項目、説明は以下のとおりです。

項目	サービス	説明。「「」」「「」」」「「」」」
	サービスに接続	サービスに接続します。
7,17	終了	クライアントを終了します。
הדוו	クエリの追加	新規クエリ追加ウィザードを起動します。
919	タスクスケジュール	タスクの状況確認や設定・手動実行などができます。
スコープ	スコープマスターの管理	スコープの追加・変更・削除ができます。
ツール	サービス設定	サービスの設定ができます。
メットレン	システムメッセージの表示	アラートメッセージを確認できます。
X90-9	メール通知設定	メール通知の設定ができます。
	ライセンス情報	ライセンス情報を表示します。
	バージョン情報	バージョン情報の表示、サポートデータの収集を行ないます。

#### 3-2. コマンドアイコンエリア

コマンドアイコンエリアは、各種操作、設定を行うことができます。

	P	a		
サービスに接続	タスクスケジュール	スコープマスター	メッセージ	最新の情報に更新

#### 操作できる項目、説明は以下のとおりです。

項目	説明
サービスに接続	サービスに接続します。
タスクスケジュール	タスクの状況確認や設定・手動実行などができます。
スコープマスター	スコープの追加・変更・削除ができます。
メッセージ	アラートメッセージを確認できます。
最新の情報に更新	画面に表示されている情報を最新に更新します。

#### 3-3. クエリツリーエリア

クエリツリーエリアには、作成したクエリがツリー表示されます。表示された各クエリを選択すると[情報&設定エリア]にそのクエリの実行 履歴などが表示されます。また、各クエリを右クリックすると設定メニューが表示されます。

🖶 クエリの追加 😋 グループの作成 💥 削除
<ul> <li>■ SERVER1</li> <li>■ SERVER1</li> <li>● アプリケーションクエリ</li> <li>● グリケーションクエリ</li> <li>● サービスクエリ</li> <li>● リービスクエリ</li> <li>● コンテム構成クエリ</li> <li>● ファイルクエリ</li> <li>● ファイルクエリ</li> <li>● フォルダークエリ</li> <li>● フォルダークエリ</li> <li>● フォルダークエリ</li> <li>● フォルダークエリ</li> <li>● フォルクエリ</li> <li>● フォルク・クェー</li> </ul>



#### 操作できる項目、説明は以下のとおりです。

項目	説明
クエリの追加	新規クエリ追加ウィザードを起動します。
グループの作成	複数のクエリをまとめるためのグループを作ります。
削除	選択したクエリ、グループを削除します。

#### 3-4. 情報&設定エリア

クエリツリーエリアで選択されているクエリの情報表示や設定の変更が行えます。

カテゴリ 🏾 🎒 フォルダークエリ

クエリ名 RS05 300Mを超えるフォルダー一覧

編集(E)

概要 指定容量を超える使用領域のフォルダーを多い順に表示します。(クエリのフィルター設定によっ て比較サイズを変更できます)

項目	説明
ステータス	クエリの実行結果が表示されます。
開始時刻	クエリの開始時刻が表示されます。
終了時刻	クエリの終了時刻が表示されます。
実行時間	クエリの実行に要した時間が表示されます。
取得件数	クエリが収集した情報の件数が表示されます。
	クリックすると、収集した情報の詳細が表示されます。

# 4. 基本操作

#### 4-1. マネージャーサーバに接続する

[ファイル] - [サービスに接続]を選択し、接続するマネージャーサーバ名とポート番号を指定します。



#### 4-2. クエリを追加する

[クエリ] – [クエリの追加]を選択し、新規クエリ追加ウィザードを起動します。

#### 4-3. スコープを追加する

[スコープ] - [スコープマスターの管理]を選択し、[対象の追加]を実行します。

スコープマスター			_ 🗆 🗙
🛖対象の追加 📴 グループ(	D作成 💥 削除 🌡	アカウントの設定	
対象	アカウント	タイプ	
🔲 amiya.co.jp	amiya.co.jp¥amiya	Windows	(2)
🔲 netapp 1	administrator	Windows	
server 1	administrator	Windows	
2			



0

#### スコープに指定可能なユーザー

クエリ種別	タイプ/対象マシン種別						
	Windows/ファイルサーバ	Windows/AD サーパ	NAS/NAS	ドメイン/AD サーバ			
ユーザークエリ			-	ドメインの管理者ユーザー ドメインの一般ユーザー			
グループクエリ			_	ドメインの管理者ユーザー ドメインの一般ユーザー			
ファイルクエリ			ローカルの管理者ユーザー ドメインの管理者ユーザー	-			
フォルダークエリ	- ローカルの管理者ユーサー ドメインの管理者ユーザー - -	ドメインの管理者ユーザー	ローカルの管理者ユーザー ドメインの管理者ユーザー	-			
共有クエリ			ローカルの管理者ユーザー ドメインの管理者ユーザー	-			
システム構成クエリ			-	ドメインの管理者ユーザー			
アプリケーションクエリ			-	ドメインの管理者ユーザー			
サービスクエリ			-	ドメインの管理者ユーザー			
プロセスクエリ			-	ドメインの管理者ユーザー			

#### 4-4. クエリのタスク状況を確認する

#### 「タスクスケジュール」を選択します。

ڟ タスクスケジュール						- 🗆	$\times$
ファイル(F) タスク(T) ま	長示(V) スケジュ	- <del>5</del> (S)					
🔁 最新の情報に更新							
לדו /	スケジュール	状態	次回の実行時刻	前回の実行時刻	前回の実行結果	カテゴリ	
アプリケーションクエリ	毎日実行	準備完了	2021/09/03 1:00:00	-	-	アプリケーションクエリ	
<i>≗</i> ≫グループクエリ	毎日実行	準備完了	2021/09/03 1:00:00	-	-	グループクエリ	
1回サービスクエリ	毎日実行	準備完了	2021/09/03 1:00:00	-	-	サービスクエリ	
●システム構成クエリ	毎日実行	準備完了	2021/09/03 1:00:00	-	-	システム構成クエリ	
🔤 ファイルクエリ	毎日実行	準備完了	2021/09/03 1:00:00	-	-	ファイルクエリ	
フォルダークエリ	毎日実行	準備完了	2021/09/03 1:00:00	-	-	フォルダークエリ	
🕝フォルダークエリのサブクエリ	親クエリ実行後	準備完了	-	-	-	フォルダークエリ	
Participation	毎日実行	準備完了	2021/09/03 1:00:00	-	-	プロセスクエリ	
<sup>2</sup> ユーザークエリ	毎日実行	準備完了	2021/09/03 1:00:00	2021/09/02 16:46:51	🕝 正常終了	ユーザークエリ	
4444	毎日実行						

スケジューラの状態: 開始

クエリ結果表示

タスクスケジューラ表示

クエリ実行

更新時刻: 16:55:29 ...

0

Ο

0

0

х

×

各メニューからタスクの実行・終了、タスクの無効・有効、スケジューラサービスの停止・開始等ができます。 ヒント また、対象のクエリを右クリックすることで各メニューと同じ操作ができます。

#### 4-5. サービスに接続できるユーザーのアクセス権を定義する

0

0

Ο

[ツ-	ール] – [サービス設定]を選択し、[接続	『ユーザー]からサー	-ビスに接続できる	ューザーを追加し	、ユーザーごとに格	崔限を設定できます
	機能	管理者	スコープ編集	クエリ編集	クエリ参照	
	サービス設定	0	×	×	×	
	ライセンス登録	0	×	×	×	
	サポートデータ収集	0	×	×	×	
	メッセージ表示	0	×	×	×	
	スコープマスター表示	0	0	×	×	
	スコープ追加/編集/削除	0	0	×	×	
	クエリ追加/編集/削除	0	×	0	×	
	クエリ定義参照	0	×	0	0	

×

×

×





0

#### 4-6. アプリケーションの各種データ格納フォルダーを指定する

[ツール] – [サー	ビス設定]を選択し、	[フォルダー]か	らフォルダー	・設定を変更し	します
and the second					

サービス設定	X
🚷 接続ユーザー 📄 フォルダー	
アプリケーション設定フォルダー	
C¥Auditor	参照
デフォルトのファイル出力フォルダー	
C:¥Auditor¥export	参照
-	
ゆうち 赤石 ナイロ ヘインド ヘア ヘビュ レナノウ ノン アンナンナナ	
バスを変更する場合には全てのタスクを厚止する必要があります。 ① データファイルの移動は手動で行ってください。	
● アプリケーション設定フォルダーの変更後はサービス再起動が必要です。	
04	Jer, X. Levil
UK	キャンセル

「アプリケーション設定フォルダー」は、アプリケーションの各種情報(クエリの実行結果や設定ファイルなど)の格納先です。 「デフォルトのファイル出力フォルダー」は、クエリの実行結果をファイルに出力する際のデフォルト格納先です。



(ALog)

「アプリケーション設定フォルダー」を変更後、データファイルの移動およびサービスの再起動が必要です。 詳しくは『FAQ』の「第2章 アプリケーション設定フォルダーを別のパスに移動したい」を参照してください。



# 4−7. メッセージを確認する

			-	
「メッセージ」ア	マイコンをな	フリックしま	きす。き	または、「メッセージ」-「システムメッセージの表示」を選択します。
🖂 システムメッセージ				- 🗆 X
日時 🔨 対象	R 1/101	メッセージID	メッセージ	^
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1054	所有者情	報の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。l¥¥localhost
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1056	ACL情報	の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。[#¥localhost#
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1054	所有者情	報の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。[¥¥localhost
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1056	ACL情報	の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。[#¥localhost¥
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1054	所有者情	報の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。「¥¥localhost
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1056	ACL情報	の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。[#¥localhost¥i
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1054	所有者情	報の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。[¥¥localhost
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1056	ACL'情報(	の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。[#¥localhost¥i
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1050	アカウントの	D検索でエラーが発生しました。 SID[S-1-5-21-102329432-481034260-38790449
2021/09/03 1:00:10 共有	iクエリ <u> </u> 警告	COM-W-1054	所有者情	報の取得に失敗しました。アクセス権が不足している可能性があります。L¥¥localhost
2021/09/03 1:00:05 ユーサ	ザー 🔕エラー	SVR-E-1041	ライセンスで	で許可されないモジュールバージョンです。ライセンスを更新してください。
2021/09/03 1:00:03 グルー	-7 🔕 Iラー	SVR-E-1041	ライセンスで	で許可されないモジュールバージョンです。ライセンスを更新してください。
2021/09/02 17:09: アプリ	リケ 🔕エラー	SVR-E-1041	ライセンスで	で許可されないモジュールバージョンです。ライセンスを更新してください。
<				×
	全 <b>7</b> -夷-子			全て既徳にする 全てかいア 問いる
	± (30)			
<sup>-</sup> システムメッt	ヒージ」画	面に表え	示され	るアラートの種類は以下のとおりです。
アイコン		アラート		説明
				処理が停止するなど重大な問題が発生した場合エラーとなります。
<b>23</b>	エラー(E	rror)		シューションの「二ション」の「「二ション」」として、「二ション」
				ノスノムメリビーノ回面がウェノーの内谷を確認し対処で打っていたでい。
	/	H' (Marnin	~)	ワーニンクは、クエリの実行で何らかの問題か発生したことを表します。
	<u> </u>	Varnin	g)	システムメッセージ画面からワーニングの内容を確認し対処を行ってください。
	インフォメ	ーション		インフォメーションは、クエリの実行で何らかのインフォメーションが発生したことを表しま
×	(Infoma	tion)		す。システムメッセージ画面からインフォメーションの内容を確認してください。
	•			



# 4-8. ライセンスを更新する

[ヘルプ] – [ライセンス情報]を選択し、[ライセンス登録]からライセンスキーを指定します。

ライセンス情報			×		
有効期限 アカウントライセンス	2021年11月30日 10,000 (適用 5)				
サーバライセンス PCライセンス	1,000(適用 1) 10,000(適用 1)			ライセンス登録	×
			(かり登録	ライセンスキー	▶照
		OK		OK キャンセル	



### 4-9. サポートデータを収集する

[ヘルプ] - [バージョン情報]を選択し、[サポートデータの収集]からサポートデータを作成します。サポートデータは、網屋サポートセンタ ーへの問い合わせの際に必要になることがあります。

「ージョン情報		
		Resource Athlete
バージョン情報		
メインサービス クライアント	2.7.0 - SEP.30.2021 2.7.0	
サポート情報		
オンラインサポート	https://support.alog.app/	
E-Mail	bv-support@amiya.co.jp	
TEL	03-6822-9910	
サポートボーカの	up #	
9/1-13-300	42.	



#### 4-10. 登録したクエリを編集する

クエリツリーエリアから編集したいクエリをクリックし、右上にある「編集」を押下すると「クエリエディター」を起動します。

カテゴリ	🚨 ユーザークエリ
クエリ名	ユーザークエリ
概要	

# 編集

#### クエリエディターでは、クエリの各種設定の編集ができます。画面内の各タブは以下のようになります。

項目	説明
スケジュール	タスクの状態の有効・無効や複数のスケジュールを設定することができます。
	※存在しない日付を指定した場合には、その月の最終日に実行されます。
スコープ	クエリの実行対象とするスコープの選択ができます。
フィールド	クエリのフィールド情報を設定することができます。クエリごとに表示されるフィールドは異なります。
	フィールドごとに出力設定を行うことができます。
出力設定	クエリ実行結果をファイルとして出力するための設定を行なえます。
その他	データベースの状態、自動削除設定、タスク実行時の任意コマンド指定、その他オプションを設
	定することができます。

#### ◆フィールド設定画面

ゴリ リ名 [ 顕要 ]	<u> 2</u> ユ ユーザ	ーザークエリ 'ークエリ		_						_
<u>ג</u> בל	ジュ <i>ー</i> ,	ル 📃 スコープ	■ フィールド	¢.	出力設定	▶ メール送信	※ その他			
出	л	フィールド	出力オプション		フィルター		ソート	1.1k8月		
6		ドメイン名						ローカルユ・	ーザーの場	
1		ユーザー名								
1		ユーザーログオン名								
1		ユーザーログオン名(wi								
1		姓								
1		名								
1		イニシャル								
1		表示名/フルネーム						ドメインユー	ザーの場	
1		説明								
1		事業所								
1		電話番号								
1		電子メール								
1		Webページ								
1		郵便番号								
1		都道府県								
1	$\checkmark$	市区町村								
0.7.20		A1		_				D (0)	Ula L(D	-
全て遠	BK	全(解除					オブ	93X(0)	リセット(R	9

項目	説明
出力	フィールドを出力対象とする場合には、チェックします。
フィールド	出カフィールド名。クエリごとに異なります。
出力オプション	個々のフィールドごとのオプションの設定ができます。
フィルター	フィルター条件を指定します。条件にマッチするデータのみを
	最終的な結果とします。条件を複数のフィールドに指定し
	た場合は、AND で結合されます。
ソート	ファイル出力結果のソート順を指定します。クライアント上
	でのクエリ実行結果の表示には反映されません。昇順、降
	順から指定します。
	ソートの優先順位を数字で指定します。
説明	各フィールドの説明となります。
全て選択	出力をすべてチェックします。
全て削除	出力チェックをすべてはずします。
オプション	フィールド全体に関するオプションの設定ができます。
リセット	各設定をリセットすることができます。



フィルターをするフィールドの型によって選択できる条件が異なります。 条件によって、%でワイルドカードの指定ができます。



#### ◆ファイル出力設定画面

ファイル出力設定	X
ファイル出力	● 有効 ○ 無効
ファイルタイプ	CSV出力 v オプション(0)
出力タイプ	全件出力 ~
出力先フォルダー	<ul> <li>デフォルト C¥Auditor¥export</li> <li>任意指定</li> <li>コネットワークトの共有フォルダー(こりカオス) アナケット(の)</li> </ul>
	□ 年月別(YYYYMM)のサブフォルダーに出力する
ファイル名	<ul> <li>● 自動設定 ユーザークエリーベууууーMM-dd-HHmmss&gt;とsv</li> <li>○ 任意指定</li> </ul>
自動削除	<ul> <li>○ 次の期間を保持する</li> <li>□ 次の履歴数を保持する</li> <li>□ ↓</li> <li>□ 自動削除しない</li> </ul>
	OK キャンセル

項目	説明
ファイル出力	ファイル出力をするかどうかを切り替えま す。
ファイルタイプ	出力されるファイル形式を CSV、PDF、 TSV から選択します。
出力タイプ	出カタイプを全件出力、差分のみを出 カ、全件を出力し差分をマークから選 択します。
出力先フォルダー	出力先フォルダーを設定することができま す。 「年月別(YYYYMM)のサブフォルダーに 出力する」にチェックすると自動で年月別 フォルダーを作成します。「ネットワーク上 の共有フォルダーに出力する」にチェック するとローカルドライブ以外のフォルダーに 出力できます。
ファイル名	ファイル名を自動設定、任意で指定す ることができます。
自動削除	自動削除の設定を任意で指定すること ができます。



出力タイプを「差分のみを出力」または「全件を出力し差分をマーク」を選択すると変更種別の情報が出 力されます。記号の意味は A(新規)、M(変更)、D(削除)になります。

#### ◆メール送信設定画面

₽ <i>𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅𝔅</i>			×
カテゴリ <u>2</u> ユーザークエリ クエリ名 ユーザークエリ			
模耍			
🙆 スケジュール 📃 スコーブ 🔲 フィールド 🔄 出力設定 🖂 メール送信 👔 その他			
メール送信設定			
メール送信 🔵 有効 🔘 無効			
ファイル添付 🔵 有効 💿 無効			
ファイルタイプ CSV出力 🗸 オプション(0)			
出力タイプ 全件出力 🗸			
メール送信条件 ○ クエリ実行結果が0件の場合は過知しない ▽ ファイルサイズが制限値を起えた場合は添付しない(MB) ③ ☆			
件名			
本文補足			
送信元アドレス			
送信先アドレス (gtn(A)			
3編5年(上)			
育『影余(D)			
0	ĸ	キャンパ	71 <b>1</b> .

項目	説明
メール送信	クエリの実行結果をメール送信するかど
	うかを切り替えます。
ファイル添付	メールにファイルを添付するかどうかを切り
	替えます。
ファイルタイプ	メールに添付するファイル形式を CSV、
	PDF、TSV から選択します。
出力タイプ	出力タイプを全件出力、差分のみを出
	カ、全件を出力し差分をマークから選
	択します。
メール送信条件	メールの送信条件を設定します。
件名	メールの件名を設定します。
送信元アドレス	メールの送信元アドレスを設定します。
送信先アドレス	メールの送信先アドレスを設定します。
	複数のアドレスを設定できます。



#### ◆その他設定画面

📪 クエリエディター				$\times$
カテゴリ 🚨 ユーザークエリ				
クエリ名 ユーザークエリ			 	
概要				
🕍 スケジュール 📃 スコープ	🗐 フィールド	🔄 出力設定 🖂 メール送信 🕺 その他		
データベース データサイズ 1.4 MB	自動削除 ④ 〉	欠の期間を保持する 1 ◆ 月   ✓		
	0)	次の履歴数を保持する 1 ↓		
	0 6	自動削除しない		
	🗹 ケエリ実行後に	自動で圧縮を行う 手動圧縮		
タスク実行時の任意コマンド				
□ タスク実行前				
□ タスク実行後				
その他のオプション				
項目	値	I.兑8月		7
正常終了時のメッセージ通知	いいえ 〜	クエリ正常終了時、システムメッセージに情報を出力する		
\			 he h less	
		OK	キャンセル	,

項目	説明
データベース	データベースの自動削除の設定を任意
	で指定することができます。
タスク実行時の任意コ	タスク実行前後に任意のコマンドを実行
マンド	することができます。
その他のオプション	その他のオプションを任意に指定すること
	ができます。

#### 4-11. サブクエリを追加する

収集結果に対してさらにフィルター条件を設定したい場合、サブクエリを利用する事で実行時間を短縮できます。

1)サブクエリを作成したいクエリを右クリックして[サブクエリの追加] を選択します。



2)出来上がったサブクエリを選択し、フィルター条件を編集します。 編集は「4-10」と同様の方法で行えます。



3)親クエリの実行が完了すると、サブクエリは実行されます。サブ クエリを手動実行した場合は、直前の親クエリの実行結果を 参照します。



### 4-12. クエリの実行結果を確認する

1) 結果を確認したいクエリ	を選択して[取得件数]をク	リックします。
Resource Athlete		- 🗆 X
ファイルKF) クエリ(の) スコープ(S) ツールKT) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	メッセージ(M) ヘルプ(H) シリセージ 単新の情報に更新	Resource Athlete.
<ul> <li></li></ul>	カテゴリ 🧟 ユーザークエリ クエリ名 ユーザークエリ 概要	編集( <u>E</u> )
<ul> <li>□ マティルクエリのサブクエリ</li> <li>□ フォルダークエリ</li> <li>□ ロニクエリ</li> <li>□ ユーザークエリ</li> <li>□ 共有クエリ</li> </ul>	- 実行履歴 ステータス 開始結時刻 終了時刻	実行時間 取得件数 8-45 00:00:07 <u>5</u>

#### 2) クエリ結果ビューアー画面が起動され、結果を確認することができます。

0	ı−t	fークエリ [2021/0	09/02 16:46:51]					-	-		$\times$
7	r1)1(	F) 表示(V)	ツール(T)								
	771	ルに保存(S) 🔼	PDFで表示								
	No	ドメイン名	, ユーザー名	ユーザーログオン名	ユーザーログオン名(windows 2000より前)	姓	名	イニシャル	表示	名/フル:	ネーム
•	1	W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥Administrator	Administrator	Administrator						
	2	W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥DefaultAccount	DefaultAccount	DefaultAccount						
	3	W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥Guest	Guest	Guest						
	4	W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥testuset	testuset	testuset				test,u	ser	
	5	W2019-OSK-H1	W2019-OSK-H1¥WDAGUtilityAccount	WDAGUtilityAccount	WDAGUtilityAccount						
1	4	1.	/ 5 🔶 🏟								

項目		説明
ファイル(F)	ファイルに保存(S)	結果 CSV、PDF、TSV 形式で出力します。
	終了(X)	クエリ結果ビューアー画面を閉じます。
表示(V)	PDF で表示(P)	結果を PDF で表示します。
ツール(T)	出力オプション(0)	出カタイプごとの出カオプションを設定します。
ファイルに保存(S)		結果 CSV、PDF、TSV 形式で出力します。
PDF で表示(P)		結果を PDF で表示します。
表示形式	全件出力	全件を出力します。
	差分のみを出力	変更があった差分のみ出力します。
	全件を出力し差分をマーク	全件を出力し、差分をマークします。



表示形式の選択は、ファイル出力設定で出力タイプを「差分のみを出力」、「全件を出力し差分をマーク」 を設定していた場合に表示されます。



#### 4-13. クエリの実行履歴を削除する

実行履歴を削除する場合は、実行履歴から削除したい実行結果を右クリックして[履歴の削除]を選択します。





#### 4-14. クエリをコピーする

既存のクエリ設定をコピーすることで、新たなクエリ設定に利用できます。 複数のクエリを選択してコピーすることも可能です。また、グループフォルダーや親クエリをコピーすると、配下のクエリもコピーできます。

例 部門ごとに棚卸用のフォルダークエリを作成したい。クエリフィールドやオプション設定は共通だが、実行結果のファイル出力先やメ ール送信先だけ部門ごとに変更したい。





クエリをインポートする場合は、マネージャーサーバを右クリックして[設定をインポート]を選択します。



ファイル選択ダイアログが表示されますので、エクスポートしたファイルを選択します。





この章では、Resource Athlete のバージョンアップ方法を説明します。

# 1. Resource Athlete のバージョンアップ

1)マネージャーサーバに管理者権限をもつアカウントでログオンし、Resource Athlete のインストールメディアを挿入します。

2) Resource Athlete のセットアッププログラムを実行すると言語選択画面が表示されます。言語を選択し[OK]ボタンをクリックします。

セットアップに使用する言語の選択										
18	インストール中に利用する言語を選んでください:									
	日本語									
	<b>OK</b> キャンセル	,								

3) ウィザードに従ってインストールします。その際、[インストール先の指定]では 前回インストール時と同じフォルダーを指定してください。 また、[コンポーネントの選択]では、前回と同じコンポーネントを選択してください。

i Resource Athlete セットアップ - 🗆 🗙	🕼 Resource Athlete セットアップ - 🗆 🗙
インストール先の指定 Resource Athleteのインストール先を指定してください。	コンポーネントの選択 インストールコンボーネントを選択してください。
Resource Athlete をインストールするフォルダを指定して、「次へ」をクリックしてください。 続けるには「次へ」をクリック」、アください、別のフォルダーを選択するには「参照」をクリック」、アください	インストールするコンボーネントを選択してください。インストールする必要のないコンボーネントはチェック を外してください。続けするには「次へ」をクリックしてください。
C*Program Files (x86)¥4 miva#Resource Athlete	
	■ 108.3 MB ■ かイアント 165.4 MB
	[ビド <sup> </sup> f2火/ト (日本語版) 5.3 MB
このプログラムは最低 187.0 MB のディスク空き領域を必要とします。	現在の選択は最低 353.9 MB のディスク空き領域を必要とします。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

4) [インストール準備完了]で[インストール]をクリックすると、下記の画面が表示される場合があります。 [自動的にアプリケーションを終了する]を選択して[次へ]ボタンをクリックし、インストールを続行してください。

PResource Athlete セットアップ - ロ ×	弱 Resource Athlete セットアップ – ロ ×
インストール準備完了 ご使用のコンピュータへ Resource Athlete をインストールする準備ができました。	<b>インストール準備中</b> ご使用のコンピューターへ Resource Athlete をインストールする準備をしています。
インストールを続行するには「インストール」を、設定の確認や変更を行うには「戻る」をクリッ クしてください。 セットアップの種類: フルインストール 選択コンボーネント: サービス クライアント ドキュメント (日本語版)	<ul> <li>以下のアプリケーションがセットアップに必要なファイルを使用しています。セットアップに 自動的にアプリケーションを終了させることを推奨します。インストールの完了後、セット アップはアプリケーションの再起動を読みます。</li> <li>Resource Athlete</li> </ul>
18加タスクー覧: アイコンを追加する: デスタトップ上にアイコンを作成する(D) すべてのユーザー < < < < < < < < < < < < <	





この章では、Resource Athlete のアンインストール方法を説明します。

#### 1. Resource Athlete のアンインストール

1) [コントロールパネル]、[プログラムと機能]を開き[Resource Athlete]を削除します。

2) アンインストール後、以下のフォルダーが残りますので必要に応じて手動で削除してください。 ◆Resource Athlete のインストール先フォルダー アンインストール後、実行プログラムは削除されますが、インストールログ等が残ります。 デフォルトパス: C:¥Program Files (x86)¥Amiya¥Resource Athelete ◆アプリケーション設定フォルダー アプリケーションの各種情報(クエリの実行結果や設定ファイルなど)を格納したフォルダーです。 デフォルトパス: 「残り容量が最も多いドライブ]:¥Auditor ◆ デフォルトのファイル出力フォルダー

クエリの実行結果をファイルに出力する際のデフォルト格納先です。 デフォルトパス: [残り容量が最も多いドライブ]:¥Auditor¥export